



6月保育所だより

令和5年5月31日
桑折町醸芳保育所

5月8日に新型コロナウイルス感染症が2類から5類に引き下げられ、20日余りが経過しました。日本各地でお祭りが復活したり、イベントが開催されたりと、以前の生活に戻りつつあるようです。しかしながら、新型コロナウイルス感染症への感染者が「0」となったわけではなく、いつ・どんな形で蔓延するか分からず心配はつきません。何度もお知らせしているように、保育所は0～2歳児の病気に対する抵抗力や免疫力の弱い子どもたちの集まりです。新型コロナウイルス感染症をはじめ、多くの感染症にまだまだ注意して生活していく必要がある子どもたちですので、今後も換気・消毒・手洗いの基本的な感染対策の徹底を図り、子どもたちの安全・安心の確保に努めてまいります。

さて、暑かったり寒かったりと、梅雨に入る前の不安定なお天気のこの時期ではありますが、子どもたちは所庭で元気いっぱい駆け回ったり、クラスごとに散歩に出かけたり、月齢の低い子はテラスでの日向ぼっこを楽しんだりしています。戸外での開放感や体を動かす心地よさを十分味わってほしいと思っています。保護者の皆様には、体調を崩しやすい時期でもありますので、子どもたちの体調管理へのご協力、よろしくお願いいたします。

<今月の保育の目標>

0歳児

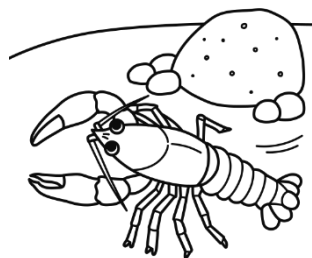
- 気候や体調に留意し、安定したリズムで穏やかに過ごせるようにする。
- 好きな保育士に要求を満たしてもらいながら、身体を動かす楽しさを味わう。

1歳児

- 梅雨の時期の健康に留意し、清潔で気持ち良く過ごせるようにする。
- 身の回りのことに興味を持ち、保育者と一緒にやってみようとする。
- 好きな遊びを見つけてじっくり遊んだり、体を動かして遊んだりすることを楽しむ。

2歳児

- 梅雨の時期を健康で気持ち良く過ごせるようにする。
- 自分で何でもしたい気持ちを受け止めてもらいながら、身の回りのことを行う。
- 水や砂、泥に触れたり、指先を使って遊んだりして、様々な素材に触れて楽しむ。

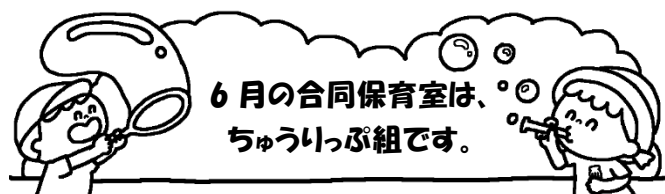


<6月の行事予定>

- 6日(火) プール開き(天候等により変更有)
- 9日(金) 保育参観(たまご組)
- 12日(月) 保育参観(ちゅうりっぷ組)
- 13日(火) 保育参観(すみれ組)
- 14日(水) 保育参観(ゆり組)
- 15日(木) 保育参観(ひまわり組)
- 16日(金) 保育参観(さくら組)
- 22日(木) 避難訓練
- 29日(木) 誕生会

<7月の主な予定>

- 7日(金) 七夕
- 24日(月) 避難訓練
- 27日(木) 誕生会



< 保育所からのお知らせ・お願い >

【職員の人事について】

6月1日より、柿沼由美子先生が採用され、たまご組の担任に加わります。

【さくら連絡網（緊急メールシステム）】

今年度に入り、既に数回連絡メールを送信しました。問題なく受信できているでしょうか。

また、保護者の方からのさくら連絡網を使つての保育所へのお休み等の連絡は諸般の事情により受け付けておりません。ご不便おかけしますが、朝9時までに電話にてお願いします。

【内科検診・歯科検診の結果】

内科検診⇒気になるところのあったお子さんについては、保護者の方へお知らせしました。それ以外のお子さんについては、異常はありませんでした。

歯科検診⇒受診した方に、「歯・口の健康診断結果と受診のすすめ」をお配りしました。むし歯等で受診の必要がある方は、早めに受診し、受診結果を保育所へ提出してください。



【新型コロナウイルス感染症の登所のめやす】

4月に配布した「医師の診断を受け、保護者が記入する登所届が必要な感染症」（水色の用紙）の新型コロナウイルス感染症の欄が下表のとおりとなります（5類感染症となったため）。

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
新型コロナウイルス感染症	発症後5日間	発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過すること※無症状の感染者の場合は、検体採取日を0日として、5日を経過すること

< 各クラスより >

たまご組

新しいお友達も入所し、まだまだ慣れないお友達もありますが、歩行開始が始まり、笑顔で歩く姿も見られます。天気の良い日にはできる

だけ、テラスで遊んだり、戸外に出たりなどして外気浴を楽しみました。気温が高い日にはお遊戯室に行き、広いお部屋を独り占めして、たくさん身体を動かして遊びました。6月は、気温や体調を見ながら、戸外や遊戯室などに出かけ、好きな保育士と一緒に体を動かしていきたいと思ひます。





ちゅうりっぷ組

おやつ前のひととき。「ちゅうりっぷ組さん、おはようございます。」保育者の挨拶に合わせて、笑顔で何度もおじぎをすることもたち。さあ！今日も元気に一日がスタートです！次は出席確認。「〇〇さん。」「〇〇くん。」保育者が名前を呼びます。「はい。」と返事をする子、恥ずかしそうに控えめに手を挙げる子、お友達の名前にも返事をしてしまう子、一人一人反応は様々ですが、名前を呼ばれると返事をしてくれるようになってきました。その後は、おいしくおやつをいただきます。



すみれ組

ゴールデンウィーク明けは、泣いて登所したり午前中に眠くなったりしていた子も、今は保育所の生活リズムに慣れてきました。スプーンの使い方も少しずつ上達しています。お家でのスプーン練習ありがとうございます！！だんだん“自分でやる”という気持ちが育ってきているので、今月はタオルやエプロンを片付けたり、自分で靴を履こうとしたりできるよう、身の回りで簡単にできることからチャレンジしていこうと思います。



ゆい組

ゆい組での生活にも慣れて、保育者にすすんで関わったり、「せんせー」と呼んでくれたりする、かわいいゆい組さんです。タオルやエプロンなどの荷物の始末も、保育者と一緒に確認しながら行っているところです。身の回りのことに興味を持てるように、ゆったりと関わっていきたいと思います。あたたかい日には、お散歩に出かけました。ヤギを見たり、新幹線に手を振ったり、テントウムシに出会ったり・・・色々な経験ができました。さくら組さんがテラスで飼育しているザリガニや、築山の方にたくさんいるアリにも、興味津々です。

今月は、新しいお友達が3名増え、4月からいるお友達は、顔をのぞきこんだり、興味深そうにそっと触れてみたり、仲良くにぎやかに過ごしています。



↑ 散歩先のベンチで一休み



ひまわり組

戸外遊びが大好きなひまわり組！プランターの下に隠れているダンゴ虫を見つけては、ダンゴ虫ハウス（大きな発泡スチロールの入れ物）に入れて喜んでいます。時々、ダンゴ虫ハウスからダンゴ虫を取り出してはクルクル丸め、ポイっとハウスに戻されています。（笑）

最近、ひまわり組のテラスの前にラベンダーの鉢植えを置きました。戸外に出る時にテラスに座って靴を履きながら、ラベンダーの花を見ながら「さ～い～た～♪さ～い～た～♪ちゅうりっぷの花が～♪」とご機嫌に歌をうたっているひまわり組です。（笑）

↑ ダンゴ虫どこだ～

さくら組

さくら組での生活の流れがわかり、落ち着いて生活できるようになりました。トイレに行くことに興味が出てきて、オムツ交換のたびに便座に座っている子も多いです。手洗いをする水道の前に並んで待つことができるよう、あしあとマークをつけるとちゃんとマークを見て立って待つことができるようになってきて、子ども達の成長に驚いています。これから、自分でできることを増やし自信をつけさせていきたいと思います。

さくら組でザリガニを飼い始めると、興味津々で飼育ケースをのぞき込んでいます。戸外へ出る時に必ず飼育ケースに「ザリガニ〜♡」とのぞき込んで挨拶をしてから靴を履いて遊びに行っています。様々な生き物や石、砂、木の実などの自然物、水や泥などいろいろなものに興味をもって触れ、発見を楽しんでいきたいと思っています。



↑ザリガニ、いっぱい

家庭生活ポイント「生活リズム」「あいさつ」「読書」・・・より

今回は、ダイアンルーマンズの「もし、子育てをやり直せるなら」という詩を紹介します。

「もし、子育てをやり直せるなら」

もう一度、最初から子育てをやり直せたなら
間違いを直そうとばかりしないで こどももっと心を通わせよう
時間ばかり気にしないで こどもの成長を見つめていよう
知識ばかり詰め込もうとしないで 心を思いやりでいっぱいになろう
もっとハイキングにだって こどもと一緒に風を上げよう
深刻ぶるのはやめて こどもと夢中になって遊ぼう
一緒に野原を走り回って 星空を見上げよう
こどもを引っ張りまわすのではなく もっと抱きしめよう
目先のことだけにとらわれないで もっとこどもをほめてあげよう
家よりもまず こどもの自尊心を築きあげよう
権力や富の力を追い求めるのではなく 愛の力のすばらしさをこどもに伝えよう
こどもはいつまでも 自分のこどもなのだから
最初からやり直す？ 今この瞬間から子育てをすればいい

今は、毎日必死で子育てしているお父さん、お母さんも、もっと、こうすれば良かった、ああすれば良かったと思う日がくるかもしれません。そんな時この詩を思い出してください。「大丈夫、今からでも十分間に合う。いくつになっても、自分の子どもは自分の子どもなのだから。」